

2023年度 第1回苦情処理委員会

日時 7月25日(火) 14:00~15:00

場所 ちどり保育園会議室

出席者 第三者委員(原田秀一)(井上准子)

園長(井上邦子)主任(中村智絵)

《議題》

1) 今まで(4月~7月)の経過報告

※ 「苦情処理委員会」にかける事例はなし。

◆ 2023年度「園のしおり」で(苦情解決のしくみ)(第三者委員)(連絡先)(園の体制)等を明記し保護者に配布。会議室入り口にも掲示し、今年度の苦情処理委員について保護者に周知する。

① 安全と衛生の対策・危機管理

◎ 緊急時(新型コロナ関連・災害等)の保護者への連絡方法については sigfy(保護者専用)で情報発信をする。(安全確保・送迎等)

・感染症の対策と情報の提供。

【新型コロナ】5月の連休明けより新型コロナ感染症については5類へ移行し、政府の基本的対処方針が廃止された。

保育園についても臨時休園や濃厚接触者に関する取扱いは廃止され、マスク着用についても個人の判断に委ねられる。

引き続き、基本的な感染防止対策をしながら日常保育をしていく。

【夏の感染症】乳児を中心にヘルパンギーナ、溶連菌感染症、アデノウイルスRSウイルス等、夏の感染症も流行っている。

・熱中症予防(帽子・水分補給・活動時間の調整や休息・体調管理等)

・夏季はシラミ・とびひ・水いぼ・食中毒等、環境衛生面に気をつけていく。

蚊の対策⇒5月~「モスキートマグネット」を稼働。

虫よけ、蚊取り線香、個人対応

【避難訓練】火災だけでなく地震、水害、不審者対策も想定し毎月、避難訓練を実施する。

【風水害】

・2023年7月10日(月):大雨洪水警報発令、原田2丁目にも開園前に避難指示が出た為、休園の措置をとった。

・1999年の水害の歴史を職員、保護者とも共有し今後の防災対策に繋げる。(避難訓練や園だより)

※ 災害時の対応については、情報収集、行政や保護者への連絡、避難時の対応、備蓄品・持出品の確保、職員間の連携について確認する。

【ヒヤリハット・事故対応】

- ・事故の対応：子どものケガや事故についてはヒヤリハットも含め問題点を共有し、事故防止に努める。（定期的に会議の議題とし組織化する）

① 保育方針の理解

- ・保育の中で大切にしたい事を保護者と共有していく。
（送迎時・懇談会・公開保育等）
 - ・ちどり保育園は来年度 50 周年の節目を迎える。法人、園の歴史を振り返り、未来に繋げていくことを意識的に職員、保護者と共有していく。
「共育て・共育ち」の営みを大切に、子どもたちのしあわせを願うすべての人たちと力を合わせていく。今の情勢を知り考え、平和についての思いを語り合う。
（7・8月：平和を考える月間）
- ⇒ 7/14：子ども夏祭り。7/15：平和のつどい・夏祭りバザー開催
改めて「平和」について職員・保護者が考える機会となった。
- ・10月：わくわく広場（運動会）他

② 保護者との連携

- ・コロナ禍で出来なかった活動が、少しずつ再開してきている。
（園行事、父母の会活動、父母の会レク等）
- ・公開保育やクラス懇談会での保護者との学習、交流を大事にしていく。
特に新入園児保護者への支援は、信頼関係をつくりながら継続した声掛けをしていく。共に子育てをしていく関係づくり。
- ・子ども同士の関係、保育の中で大切にしている事や発達、手立てなど保護者にも伝えていく。
- ・障がい児保育、育児支援、保護者の心のケア、虐待、異文化コミュニケーションの対応。

⑤ 個人情報保護について

- （ニュース等の配布物・写真撮影・HPへの掲載について配慮）
- ・個人情報に関わる配布物については、シュレッターにかけ処分するように対応をしている。
 - ・個人情報に関わる書類、写真、SNSの管理（職員に徹底）

⑥ 行政・専門機関との連携

- ・療育センターより訪問支援
 - ・職員の療育機関の見学
- ・家庭での虐待等、支援の必要な家庭については、児童相談所と連携しながら把握、

サポートしていく。➡ 支援の必要な家庭が増えてきている。

⑦ 地域との関係づくり

・コロナ禍で地域の行事もなく繋がりが途切れたが、今年度は地域の夏まつり・人形飾りにも参加予定。

(よりどり・父母会バザー等・ゴミ拾い散歩レク活動も実施)

・ふれあいサロン：他のサロンと合同のバスハイクを計画

・現在、送迎時の駐車場待ちの苦情などは、ほとんどない。

⇒ 地域の中の保育園として、どのようなつながりが持てるか今後の課題。

※ 苦情、要望等があった場合は苦情処理委員会で検討する。

※ 定期的に会議をひらく。 *緊急の場合は随時開催する。